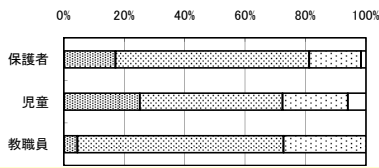


□4- そう思う □3- どちらかといえば、そう思う □2- どちらかといえば、そう思わない □1- そう思わない

学校教育目標

1 教育方針・目標の理解

学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者、地域にわかりやすく示していると思いますか。

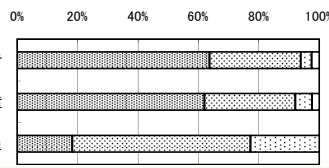


【学校から】

○学校教育目標等については、年度始めのPTA総会時に説明し、さらに「日吉小だより」でも活動の実際について保護者に具体的に知らせている。また、学校経営案と学級経営案とをリンクさせ、学級からも教育方針や具体的な実践事項等についても発信している。このことにより、多くの保護者から学校の取組について温かい評価をもらった。ただし、2の評価が若干多いのは、保護者の学校に対する関心が薄いか、学校から発信する情報がうまく伝達されていないかもしれない。この状況に甘んずることなく、子どもたちや保護者が「日吉小でよかった」と感じてくれるような学校づくりをめざし、全職員一つのチームとして誠心誠意毎日の教育活動にあたっていく。

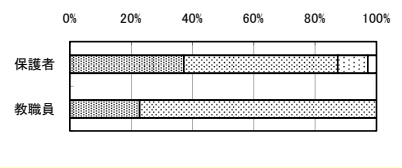
2 意欲的な学校生活

子どもは、楽しい学校生活が送れていると思いますか。



3 教師の連携協力

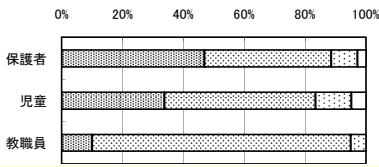
学校では、先生方が連携協力して教育活動に取り組んでいると思いますか。



教科指導

4 授業づくりの工夫

先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。

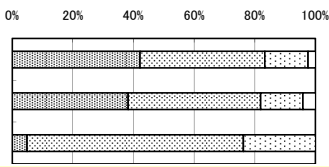


【学校から】

○授業づくりの工夫に関しては、子どもや保護者の1割が工夫が必要とらえていることがわかる。今後も引き続き能動型学習の展開において「子どもの発想の生かし方」や「子ども同士による練り上げ方」等の指導法を一層工夫していく必要がある。質問5については、学ぶ構えづくりと学習環境づくりに努めてきたことにより、約9割の子ども楽しく学習に取り組んでいると答えた。朝会の回数を減らし、朝自習への支援を行った。『学びノート教室』の内容をより一層充実させたりすることによりさらにすべての子どもに学ぶ楽しさを体感させたい。

5 意欲的な学習態度

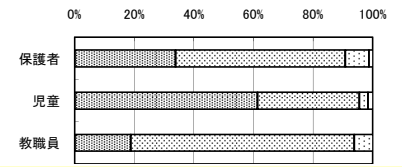
子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。



総合的な学習の時間

6 総合的な学習の時間の充実

子どもは、総合的な学習の時間に意欲的に取り組んでいると思いますか。



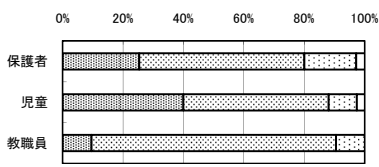
【学校から】

○保護者や地域の方々を招いての「日吉フェスティバル」を学習の発表・発信の場として位置付けるとともに、学年及び学級単位で日頃から総合的な学習の時間の趣旨にそった学習の実践を心がけた結果子どもの充実・満足度は高い。ただし、もっと保護者の理解を求めするために日吉フェスティバルのみならず発信の場の設定を工夫していきたい。

道徳教育 心の教育

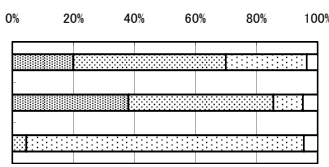
7 道徳、心の教育の充実

学校は、思いやりの心や感謝の心などを大切に心の教育の充実に努めていると思いますか。



8 あいさつ、礼儀の励行

子どもは、あいさつがきちんとできていると思いますか。



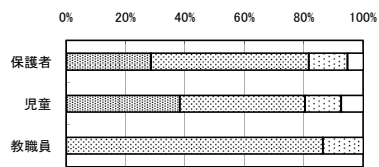
【学校から】

○道徳の時間の充実については、毎年心のノートの活用等を含めて研究を深めている。特に昨年度からは熊本市教育委員会の指定を受け、さらなる道徳教育の充実に努めてきた。その結果、保護者、子ども、教職員のいずれもの約9割が3、4の評価を付している。全職員一丸となって研究を進めてきたまものであると考えている。今後もさらなる充実に邁進していきたい。  
○本校では「あいさつと思いやりいっぱい日吉の子」を校訓として日頃からその推進に努めているが、子どものあいさつについて特に教職員があまり良くないとらえているが、子どもや保護者は良いとらえている。昨年度から毎週月曜朝のPTAあいさつ運動を進め、あいさつができる子どもの育成を図ってきた。今年度は6年生を中心とした朝のあいさつ運動を行ったため、子どもたちの意識も徐々に高まってきている。

人権教育

9 一人一人の生徒の尊重

学校は、一人一人の子どもを大切に指導や対応ができていますか。

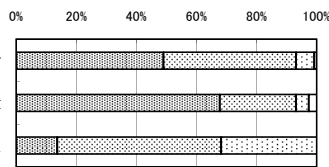


【学校から】

○「一人ひとりを大切にされた対応ができています」と保護者や教職員は比較的高い評価を考えているが、20%近くの子どもたちが、自分を大切にされていないと考えていることがわかった。思いやりについては、子どもや保護者に比べて教職員は大変厳しく受け止めている。子どもたちへの対応について、今後もみつめる会などで共通理解・共通実践を積み重ねていきたい。

10 友だちへの思いやり

子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。



特別支援教育

11 学校の支援体制

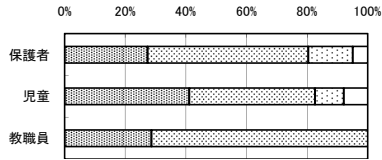
学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。

【学校から】

# 生徒指導 教育相談

## 12 生徒理解

先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようとして努力していると思いますか。

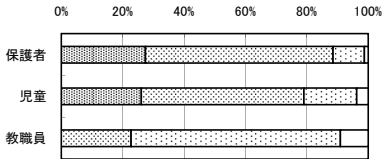


【学校から】

○質問12については、教職員の指導や手立てが保護者に十分に伝わっていないことも考えられる。子どもを通してもっと確実に教職員の思いや指導が伝わる工夫をしていく必要がある。  
 ○質問13については、マナーを守れない子どもに関して、保護者と密に連絡を取り合ったり、本人に指導したりしている。保護者と教職員との意識のずれは子どもの姿を的確に把握していない保護者がいるからではないかと思われる。保護者の啓発法についても考えていかねばならない。  
 ○質問14については、保護者の意識があまり高くないと思われるので学校としての対応をもっとアピールしていく必要があると思われる。

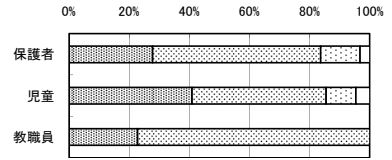
## 13 規範意識

子どもは、きまりやマナーを守っていると思いますか。



## 14 いじめや問題への対応

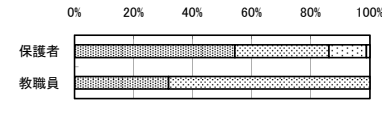
学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。



# 健康教育 安全

## 15 安全と事故防止

学校は、子どもの安全と事故防止に努力していると思いますか。

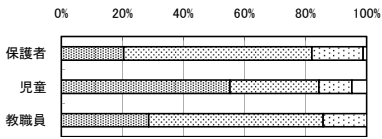


【学校から】

○体育的行事に合わせて各学級の取組がなされ、休み時間にも自主的に運動する子どもが増えてきた。  
 ○事故防止対策として廊下や道路の右側を静かに歩くことに昨年度から取り組んでいる。少しずつはよくなっているがまだまだ不十分なので引き続き工夫しながら実践していきたい。  
 ○体力向上のために、体育委員会がその時期に合わせた活動を工夫することで子どもたちの外遊びが増え、体力向上への関心が高まっている。

## 16 体力向上

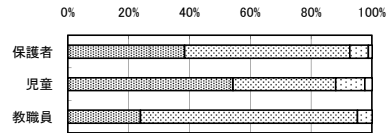
子どもは、すすんで外遊びやスポーツをしていると思いますか。



# 学校行事

## 17 学校行事への参加と工夫

学校では、運動会や学習発表会などの学校行事が工夫されていると思いますか。



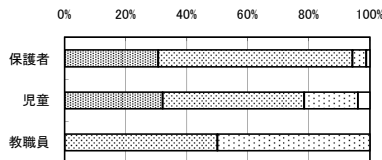
【学校から】

○昨年度の取組に加えて、今年度は携帯の「日吉校区安心メール」等での呼びかけも早い保護者や地域の方々の積極的な学校行事への参加を促すよう努力してきた。その結果、保護者、子ども、教職員のいずれもが9割を超える3及び4の評価を付けている。この結果に甘んじることなく、更にホームページ等の活用も図りながらさらなる学校行事への保護者や地域の方々の参加の増加を図ってきたい。  
 ○学習発表会については、土曜に実施し、子どもたちが主役の表現的活動になるようにしている。

# 学校環境

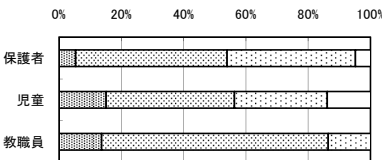
## 18 環境の整理・美化

学校では、校舎内外（花壇や掲示物など）がきちんと整理されていると思いますか。



## 19 施設・設備の安全管理

学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。

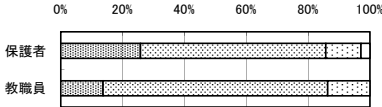


【学校から】○今年度は、花壇活用計画、掲示板活用計画を再度見直し、計画的に活用した結果、花や緑が増え、掲示物も充実したため、3及び4の評価が大変多かった。施設設備の不備による大きな事故等はなかったが、さらに細かく点検を行い、日常的な安全管理に努めていきたい。  
 ○今年度体育館の屋根防水の工事や校内の修理を徹底して行った。今後はさらに校舎周辺環境整備も計画的に進めていきたい。  
 ○今年度「ふれあいの森」の整備を行ったため、明るく風通しもよくなった。しかし、花壇の活用が計画的にできなかった。来年度は、花壇活用計画を立て実践につなげていきたい。  
 ○今後、さらなる施設設備の整理整頓にも努めていきたい。

# 情報の公開・発信

## 20 学校の予定等がわかる情報発信

学校からの文書等で、学校の情報が十分発信されていると思いますか。

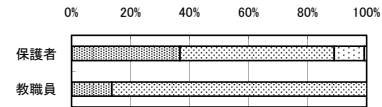


【学校から】

○年度始めに全家庭に学校の主な年間行事について配付して周知を図っている。さらに、市教委作成の月行事をもとに調整を図り、できるだけ早く確定情報を提供し、保護者が授業参観等へ参加しやすい条件整備に努めてきた。年間学校行事の詳細な案内文はその都度約1ヶ月前には必ず配付して保護者が計画的に学校へ出かけるようにしている。その他、学校行事がなるべく同じ曜日にならないように工夫している。また、今年度は特に昨年からのスタートした携帯電話を利用した「日吉校区安心メール」でさらなる学校行事等の周知徹底を図っている。保護者には、「日吉校区安心メール」のアドレスの携帯への登録を勧めている。  
 ○今年度は日吉小のホームページの内容も少しずつ充実しているため、来年度は保護者への呼びかけを随時行いさらなる最新の情報提供に努めていきたい。

## 21 教育活動への参加

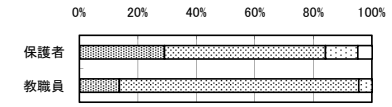
学校が公開している教育活動（行事、授業等）は、保護者や地域の方が参加しやすいと思いますか。



# 家庭・地域との連携

## 22 家庭や地域との連携協力

学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。



【学校から】

○学校行事を中心に保護者や地域の方々には様々な面で協力をいただいている。そのことを保護者も教職員も実感している。子どもたちにも折に触れ保護者や地域の方々の協力について話してきかせたり、給食に学校ボランティアの方々をご招待したりして子どもたちの周囲の方々に対する感謝の念や思いやりの気持ちの醸成に努めている。

# 来年度の具体的な取り組みについて

○熊本市教育委員会指定「心の教育」についての研究の2年目を終え、今年度はその研究の成果を生かして子どもたちの教育にあたってきたし、教職員・子ども・保護者が一体となって連携協力を図りながら教育活動を行ってきた。しかし、子どもたちの気持ち安定しておらず、教育の難しさを感じる年であった。  
 ○昨年度から引き続き「あいさつ、礼儀の励行」について来年度も教職員・保護者が一致団結して取り組んでいく必要があると考える。子どもの自発的で明るく元気なあいさつやTP01に合わせた言葉遣い等について対策をさらに考えていかねばならない。

# 学校関係者評価

○登校班で登校するのは大変良いシステムだと思うので、時々一人で登校している上級生を見かけると心配になる。きちんとその班のリーダーとして登校班で登校してほしい。○この1年間を振り返ってみて、各学年全般的に成長のあとが見られる。○全般的に教職員の評価が厳しいのは当然と思われるが、特に項目の5、8、9、10、13、17は差が大きいようだ。○指導が困難な子どもについては、次年度のスタート1日目を大切にしてほしい。先生との出会いがうまくいき、円滑にスタートできることを望む。○問題点については、必ず前兆があるはずだから、小さなことを見逃さず、小さな内に悪い芽をつむむことが大切である。○先生たちがきちんと連携・協力ができていると聞いて安心した。子どもたちの課題解消はまず先生たち全員が共通理解して共通実践することが大切だと思うから。○学校の先生たちが毎日たいへんだということがよくわかった。○家庭の躰がいかに大事かということを感じている。